

町田市の「見える化」改革の取り組み（東京都町田市）

取組概要

○見える化①「新公会計の導入」

複式簿記・発生主義といった企業会計の考えを取り入れ、課別事業別の財務諸表を作成した。事業のフルコストを「見える化」することで的確な財務マネジメントを実践する。

○見える化②「行政サービス水準他市比較調査」

コストに加え、品質やサービスも適切に評価するため、業務を科学的に把握し、事務の「見える化」を行う。そして、自治体間比較を行うことで、客観的な視点を踏まえた業務改革につなげる。

人口 42.8万人(2016.7現在)

担当 政策経営部 企画政策課  
総務部 総務課

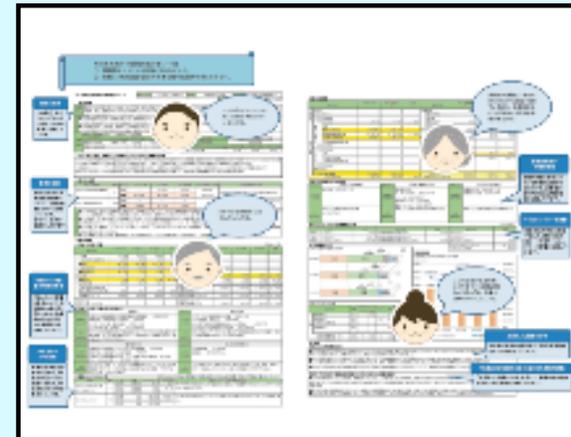
取組の効果

○見える化①「新公会計の導入」

道路や建物等の資産や地方債等の負債といったストック情報、減価償却等の現金支出を伴わない費用や人件費等を含めた事業のフルコストが把握できるようになった。

○見える化②「行政サービス水準他市比較調査」

同規模の自治体で、同一の法令に基づく業務でも、実施手法の違い等により、業務コストが大幅に異なることが分かった。



町田市の課別事業別行政評価シート

創意・工夫した点

○見える化①「新公会計の導入」

課別事業別でコストを明らかにした点

○見える化②「行政サービス水準調査」

業務をプロセスで分解し、自治体間で比較した点が特徴

他団体へのアドバイス

見える化②は、どんな自治体でも簡単に始める事ができる。ただし、業務量の把握には、調査対象部門の職員の協力が、自治体間比較には他自治体の協力が必要不可欠。繁忙期をズラす等の工夫が必要。



行政サービス水準 他市比較調査